

の2市に倣い早く検討すべき。広域化までやらないのか。

答 スーパーとも協力連携しながら衛生協力会等と自治会連合会も含め、なるべく早い段階での検討を始める。

問 本市の粗大ごみは月1回集積場への収集を行い、大きいものに関しては処理場へ直接自己搬入しなければならぬ。これまでと同様、無料部分は残し、運搬サービスを手頃な値段でできないか。

答 検討作業に入っている。熊谷市の例を含め検討し、導入に向け最終決定していく。

産業振興

**産業交流拠点
道の駅の
早期実現を！**

梁瀬 里司
(黎明2)

問 産業交流拠点(道の駅)整備に関する市民懇話会が1月に開催されたが、状況はどのようなであったか。

答 7日間開催し、27名の参加があった。平成28年度作成の基本計画に、この懇話会での貴重な意見を反映していく。道の駅については、近隣

市でも計画があり、早期実現を望むが、どうか。

答 本市に適した特色ある施設整備に向け、近隣市の動向も注視しつつ、早期に実現できるような関係機関等の協力を得ながら努力していく。

子育て支援策の拡大を

問 幸手市では、4月から国民健康保険の出産一時金を第1子から50万円を支給予定。さいたま市では、孫育てを応援するため「祖父母手帳」を配布。国では、不妊治療への助成額を拡充予定など、国や市町村等で少子化や子育て支援への取り組みを行っている。本市においても更なる子育て支援の拡大を行うべきと考えるが、どうか。

答 「行田市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子育て支援策の充実に努めている。平成28年度は第3子以降における市立小・中学校の学給食費の無償化や学童保育室の増設、子育て世帯の住宅取得奨励金事業の継続など、更なる充実に努めていく。

「その他の主な質問」
○子どもの視力低下
○上尾道路等の整備

道路整備

**高速埼玉中央道路
の整備について**

吉野 修
(黎明2)

問 本市が圏央道などの周辺高速道路のネットワーク化に乗り遅れ、行田駅前の「行田駅開設記念碑」にあるように、「伝説にしろ国鉄を追いやっただ町としての不名誉と不便」という大きな禍根を後代に残さないために、また、都市間競争を互角に戦うためにも、圏央道などに接続する高速埼玉中央道路の整備が必要と考えるが、本市の認識はどうか。

答 地域高規格道路の「新大宮上尾道路」の自動車専用道路部である本路線は、鋭意整備が進んでいる一般道路部とともに、重要な広域幹線道路として、交通便利性の向上はもとより、更なる産業振興や交流促進を図る上で、本市のポテンシャルをより一層高めるものと認識している。

問 本市のこれまでの対応と今後の対応はどうか。
答 現在、一般道路部の整備

について、直轄国道沿道協議会や熊谷バイパス建設促進期成同盟会を通じ、優先整備区間として要望活動を実施している。一方で、自動車専用道路部は、事業着手されていないが、埼玉県及びさいたま市による積極的な要望活動が行われている。今後、埼玉県や沿線の自治体と連携するとともに、建設促進期成同盟会などの活動を通じ、早期整備に向け取り組んでいきたい。

「その他の主な質問」
○高速道路へのアクセス強化
○小学校の統合

政治姿勢

**秩父線新駅と
行田らしいまち並み
づくりの市民メリット**

高橋 弘行
(発言と行動する会)

●秩父線新駅の本市のメリットについて

問 この事業は負担金が大きくな問題であり、且つ、熊谷市のための事業ではないのか？ 定住促進が目的なら、小学校は西小、中学校は忍中と遠距離である。また、定住の目標数字もなく、1億8千万円の

税金を使い、目的、市民幸福度向上、人口減少対策及び費用対効果の説明がない。再度お聞きしたい。

答 今回の新駅の設置により、地域公共交通の利便性の向上を初め、駅という都市拠点の形成に伴い、宅地開発の促進による定住人口の増加や新たな人の流れが創出されることで地域の活性化に寄与できるものと考えている。費用対効果の検証については、新駅の利用者数や周辺区域の住宅建設件数等について、今後の推移を把握していきたい。

●「行田らしいまち並みづくりと賑わい創出事業」と市民意識のギャップ
問 この事業は第一に税金の使い方の順番が違う。店がない中で、石畳にして活性化や



北谷通り